

葉山城のシーンは、苦痛のうめき声を上げる多数の負傷兵を治療する黒衣の僧侶と介護人の娘たちで総勢百名以上に膨れ上がり、西洋医学が導入される前の救急医療現場が再現されました。

東庵は鍼の名手という設定でもありました。当時はお灸の方が一般的で、細い針は手に入らなかったとみられます。太めの針を小槌で打ち込む打鍼法が民間に存在しましたが、日常の治療風景

という演出のため、日本独自の優しい手技となった現在に近い描写がなされました。

コロナ禍で収録・放映期間が分断されたものの、平和をねがう象徴の「麒麟」を物語とともに追い求めた2年間では、所内外からのご協力により、漢方の様々なルーツに出会うことができました。

最新 漢方研究の世界

「朮(ジュツ)」のイヌロオリゴ糖

基礎研究部 清原寛章



漢方薬の構成生薬として「朮」と呼ばれる生薬にはキク科のオケラまたはオオバナオケラを基原植物とする白朮(ヒャクジュツ)とホソバオケラを基原植物とする「蒼朮(ソウジュツ)」があります。当研究所では300種の約束処方がありますが、白朮が配合される漢方処方では54種、蒼朮を配合する処方では39種有り、相当数の漢方処方に配合される生薬の一つです。漢方医学的にはその薬効は異なるとされていますが、日本で医療用漢方エキス製剤として例年最も多く製造・投薬されている補中益気湯という漢方薬のエキス製剤ではツムラのもは蒼朮を、小太郎漢方製薬やクラシエでは白朮が配合されており、蒼朮配合剤と白朮配合剤の真の薬効の違いについては、不明な点が多々残されています。当研究所では、白朮が脾胃(消化管および腸管免疫系の機能の概念が含まれている漢方用語)の機能低下の改善に用いられ、補中益気湯の薬効に重要と考えられることから、白朮配合の補中益気湯が処方されています。最近の補中益気湯の白朮配合剤と蒼朮配合剤との小腸粘膜炎症に対する作用の比較解析から、白朮配合剤のみが有効であることが明らかとなりました。また、肺の粘膜免疫系に対する作用の比較から、いずれの配合剤も特に感染の予防に関与する先天性感染防御免疫系の因子の産生や発現を増強することが分かってきていますが、白朮配合剤の方が肺炎を抑制する傾向が強いことも推定されています。この白朮配合剤と蒼朮配合剤の薬効の違いを司る活性成分の解析研究から、イヌロオリゴ糖と呼ばれるオリゴ糖の長さ(鎖長と言いますが)の分

布の違いが重要であることが分かってきました。このオリゴ糖は消化管からは吸収されませんが、口から投与されると何故か身体の免疫系が調節されます。その作用の発現メカニズムの解析から、どうも小腸にある特殊なリンパ節の「パイエル板」に取り込まれ、作用を発現していることが分かってきました。パイエル板中には多数のリンパ球が常在しますが、そこに留まらず、リンパ管を通過して、心臓に到達後、血流に入り、身体全体に分布し、到達した先の組織の免疫微小環境を調節することで種々の薬効を発現します。白朮配合剤のイヌロオリゴ糖はどうもパイエル板で免疫系を前に走らせるリンパ球と同時に免疫系が暴走しないように調節するリンパ球を同時に作り出し、そのリンパ球が身体全体に配られて薬効を発現するらしいことが分かってきました。さらに興味深いことに、私たちの身体中には自己組織に反応し、攻撃してしまうリンパ球(自己反応性リンパ球)が存在します。健康な状態ではこのリンパ球は抑え込まれて問題を起こしませんが、免疫バランスが崩れたり、免疫老化に伴い、身体は炎症性の傾向になることが分かってきていますが、その状態になるとこの自己反応性リンパ球が悪さをするようになり、種々の体調不良につながると考えられています。パイエル板はこの自己反応性リンパ球を除去するシステムを有しており、どうも白朮配合剤のイヌロオリゴ糖がこのシステムを強化しているらしいことが最近分かってきました。このため、補中益気湯に限らず、白朮配合の漢方処方の薬効の解明が今後の重要な課題となってきています。

生薬豆知識 桃

薬剤部 主任 水崎晴奈



「桃太郎さん、桃太郎さん、お腰に付けたきびだんご、一つ私にくださいな」 — 昔話として有名な桃太郎ですが、何故「桃」なのかご存知ですか？

まず、モモのルーツについて見てみましょう。モモは元々、中国原産の植物です。中国では「仙木」とも呼ばれ、邪気を払う力があると考えられていました。元旦に飲む桃湯は邪気を退け、樹脂である桃膠から作られる仙薬は、万病に効くとされていました。中国の長い歴史の中でも桃は、「不老長寿の薬になる」という伝説や「魔除けの力」があるとされ、大変縁起の良い食べ物として、「仙果」と呼ばれ、仙人の食べる果物として愛されてきました。現代でも、結婚式などの祝い事の席に出す菓子として、モモの実の形をした「桃饅頭」などがあります。

日本へは、弥生時代の遺跡である奈良県桜井市の纏向遺跡から種が出土していることから、農耕文化とともに伝来したものと考えられています。当時は今のようなみずみずしいものではなく、小さな実だったといえます。現在私たちが食べているものは明治以降に甘さを求めて導入された品種改良種です。



モモの花

日本での書物への最初の記載としては『古事記』に登場しています。神であるイザナミノミコトが黄泉の国から逃げる際に、黄泉の境に生えていた桃を投げることで逃げる事ができた、というものです。この記載は、モモに邪を払う力があることを示しています。ちなみに、この功績から桃はオオカムヅミノミコトという名前の神様になります。『今昔物語集』にも、陰陽師が鬼の侵入を防ぐのに桃の木を使っている話が載っています。このように、桃が鬼を払うという思想が人々の間で根付いていました。「桃太郎」の話は、桃に邪鬼を払う力があつたことから、かの有名な鬼退治の物語が生まれたという説があるようです。

約2000年前に中国で書かれた薬物学書である『神農本草経』にもモモについての記載があります。種は血の流れのとどこおりを解消し、花は邪悪な気を祓い、果実の表面の毛は腹の中に溜まった悪い血を下し、冬になっても枝についたままの果実は祟りを消す、と、各部位それぞれに薬効があると書かれています。現代でも、モモの種子である桃仁は血液が原因とされる疼痛性炎症疾患に用いられ、「桂枝茯苓丸」や「桃核承気湯」といった処方に配合されています。ちなみに薬用のモモは、原種に近い、実は小さいが核果が大きいモモ（毛桃など）を利用します。

このように様々な意味を持つモモ、実は「天下無敵」という花言葉もあるそうです。伝説を知ると納得ですね。



桃仁 (モモの種子を乾燥させたもの)

ツボの効用 花粉症のツボ

鍼灸診療部 主任 黒岩奈々子



今年も花粉症の時期が近づいてきました。花粉症は花粉によって引き起こされるアレルギー疾患で、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目の掻痒感等の症状が特徴的な症状です。日本で花粉量が圧倒的に多いのがスギ、ヒノキ花粉です。というのも国土の7割は森林であり、そのうちの約4割が(1.020万ha)が人工林でその約7割がスギ・ヒノキであると言われ

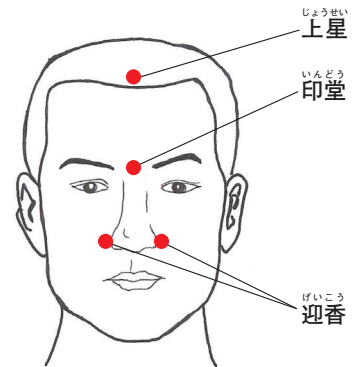
ています。東京都保健福祉局の飛散花粉データによると、東京都においても近年ヒノキ花粉飛散量が増加傾向にあります。通常、スギ花粉は3月、ヒノキは4月上～中旬をピークとして飛散し、スギ花粉患者の多くはスギ花粉が終わった後もヒノキ花粉の症状が続くのでこの時期にしっかりとした対策が必要となってきます。東京都保健福祉局のアレルギー情

報navi.で東京都の花粉情報・予防策などを公開しているの、都内にお住まいの方は参考されるといいかもかもしれません。

さて、昔に書かれた古典医書の中では花粉症はどう考えられていたのでしょうか。さすがに花粉症という表現はありませんが、鼻に関する記載がいくつかみられます。鼻の病として「鼻淵（だらだらと流れ出る鼻水、鼻閉、臭覚減退）があり、西洋医学では蓄膿症に近い病態と考えられます。『黄帝内経』には「肺の気が減ると鼻が詰まる」「腎が弱るとくしゃみがでる」とあります。また他の古典医書には「内臓あるいは消化管の冷えている人はしばしばさらさらとした鼻水とくしゃみが出る」などと記載されています。このように、東洋医学においては鼻水やくしゃみがでるのは単に鼻に問題があるだけでなく、肺や腎の状態をはじめ全身の臓器と深く関係していると考えられるのです。現代で言えば例えば夏場に、クーラーが効いた部屋で冷たいものを飲み食い…そんな生活を続けていれば、内臓が冷えてしまい鼻症状が悪化しやすいとあり、古典医書を読むと日々の生活を見直すきっかけになります。

今回は手の陽明大腸経、任脈の経絡上の頭と顔面

にある花粉症に有効な経穴（ツボ）を紹介したいと思えます。小鼻のすぐ両わきにある迎香穴、体の前面正中線上で髪の生え際から約3センチ上にある上星穴、両眉毛の中央にある印堂穴などです。これらのツボを刺激することで鼻粘膜に作用し、鼻炎症状を抑えることができます。押し方は人指し指か中指の指の腹を使い、軽く気持ちいい程度の力で十分です。特に鼻粘膜に炎症のある様な方は、迎香穴を押すとツーンと響く様な痛みを感じがあるので優しく押してあげてください。この3つのツボを刺激するだけでも鼻粘膜の充血を取るため、鼻の通りがスーッと鼻づまりや鼻水が改善します。迎香穴は鼻炎症状に、上星・印堂は鼻の諸症状の他にも頭重感や目の痛みや不快感も取り除いてくれるので頭も目もスッキリします。ツボ押しでこの辛い季節を乗り越えましょう。



東洋医学総合研究所 外来案内
漢方鍼灸治療センター

漢方科 2021年4月1日～						
	月	火	水	木	金	
午前	花輪 ^① 星野 森(裕) 石毛	花輪 鈴木 森(裕) 石毛 [冷え症外来] 伊藤(剛) ^②	花輪 ^③ 川鍋 石毛 中尾	花輪 小田口 川鍋 森(瑛)	伊藤(剛) 鈴木 星野 森(裕)	小田口 ^⑤ 及川 ^⑤ 鈴木 ^⑤ 星野 ^⑤ 森(裕) ^⑤ 川鍋 ^⑤ 石毛 ^⑤
午後	森(裕) 川鍋 [冷え症外来] 鈴木	伊藤(剛) 鈴木 伊東	星野 川鍋 石毛	小田口 川鍋 及川 ^④ 五野 中尾	鈴木 星野 森(裕) 伊東	

休診日：日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)
ホームページ：http://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/

鍼灸科 2021年4月1日～						
	月	火	水	木	金	
午前	伊藤(剛) 黒岩 石原 小山	柳澤 井田 石原	石野 井田 黒岩 石原	伊藤(剛) 伊藤(雄) 小山	伊東 黒岩 近藤 石原	伊東 ^② 井田 ^② 黒岩 ^② 伊藤(雄) ^② 近藤 ^②
午後	井田 近藤 石原 小山	黒岩 伊藤(雄) 近藤 石原	伊東 伊藤(雄) 近藤 石原	井田 黒岩 伊藤(雄) 小山	伊藤(剛) ^⑥ 井田 伊藤(雄)	

※黒字は男性医師または男性鍼灸師
赤字は女性医師または女性鍼灸師
※専門外来では一般の患者様の診療も行っています。

- ① 月曜日前の花輪医師の外来は、初診の方のみとさせていただきます。
- ② 火曜日前(第1・3)の伊藤(剛)医師の冷え症外来は、初診のみとさせていただきます。
- ③ 水曜日前の花輪医師の外来は、第2水曜日を休診とさせていただきます。
- ④ 木曜日午後の及川医師の外来は、第2木曜日のみとさせていただきます。
- ⑤ 土曜日の外来は、交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問合せください。
- ⑥ 土曜日午後の伊藤(剛)医師の外来は、毎月第1・2・3金曜日のみとさせていただきます。
- ⑦ 土曜日の外来は、交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問合せください。

予約電話：03-5791-6169
(月～金) 8:30～11:00
及び
12:00～16:00
(土曜日) 8:30～11:00
お薬に関するの問い合わせ：
03-5791-6167
その他のお問い合わせ
代表：03-3444-6161

初診受付時間

漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:30	8:00～10:30
午後	12:50～15:00	

鍼灸科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:00	8:00～10:30
午後	12:50～14:30	

再診受付時間

漢方・鍼灸	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～11:00	8:00～11:30(鍼灸) 8:00～12:00(漢方)
午後	12:50～15:30	

漢方ドック

月～金曜日(完全予約制)
9:00～15:30



WEBサイト